

大吟醸酒用のふくいオリジナル新品種「さかほまれ」

1. はじめに

福井県での生産によって酒米としての特性を十分に発揮できる大吟醸用の酒米品種はなく、大吟醸用の酒米はほとんどを県外から購入しています。そこで、水、酵母、酒米が全て県オリジナルである日本酒によるブランド力の向上を目指し、大吟醸酒用品種を育成しました。

2. 生育特性

出穂期は「山田錦」より1日早い、“晩生の晩”です。稈長は「山田錦」より短く“長”(写真1)、穂長は「山田錦」より短く“やや長”、です。穂数は「山田錦」より多く、草型は“偏穂数型”です。耐倒伏性は「山田錦」より強く“中”、脱粒性は「山田錦」よりし難く“難”です(写真1、第1表)。

収量性は「山田錦」対比で104%です。

3. 病害抵抗性

葉いもちおよび穂いもち圃場抵抗性は“弱”です。

4. 玄米品質

穂発芽性は「山田錦」よりし難い“中”です。千粒重は「山田錦」と同程度、粒形も「山田錦」と同等です。

心白発現率は「山田錦」より高いです(写真2、第1表)。

5. 精米特性

70%搗精時の碎米率は「山田錦」よりやや高いですが、35%まで搗精が可能です。



写真1 左：さかほまれ 右：山田錦



写真2 左：さかほまれ 右：山田錦

第1表 「さかほまれ」の品種特性

品種名	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	精玄米重 kg/a	比率 %	耐倒伏性	脱粒性	穂発芽耐性	いもち病抵抗性	千粒重 g	心白発現率 %	70%精米碎米率 %
さかほまれ	8.12	9.26	93	21.8	483	49.6	104	中	難	中	弱	25.4	69	4.3
山田錦	8.13	9.28	103	23.1	446	47.8	100	弱	やや易	やや易	弱	25.9	59	3.1

2015-2017年平均。収量調査節は2.0mm。移植日：2015年：5月8日、2016年：4月28日、2017年：5月15日
基肥(kg/a) N:0.27、P:0.34、K:0.26 中間肥(kg/a) N:0.10、P:0.13、K:0.10 穂肥(kg/a) N:0.30、P:0.10、K:0.34